

第 1 回 多摩市総合計画審議会会議録（要旨）

■開催日時 平成 30 年 6 月 4 日（月） 午後 7 時～午後 9 時

■開催場所 多摩市役所 3 階特別会議室

■出席委員 14 名（50 音順）

飯田 佳子委員、伊藤 雅子委員、尾中 信夫委員、小島 豊委員、榊 つきみ委員、
鈴木 充委員、妹尾 浩也委員、田村 豊委員、中島 康予委員、長谷川 尚美委員、
藤井 敬子委員、藤本 潔委員、松井 望委員、横山 誠一委員

■欠席委員 1 名（50 音順）

野坂 美穂委員

■事務局

阿部市長、浦野企画政策部長、田島企画課長、秋葉企画調整担当主査、西村主事、三富
主事

パシフィックコンサルタンツ㈱ 齋藤氏、森下氏

■傍聴者 1 名

■議事日程

開会

1 市長挨拶

2 委嘱状の交付

3 委員の紹介等

4 多摩市総合計画審議会条例について

5 会長、副会長の選出

6 諮問

7 会議運営に関する事項の確認について

8 「（仮称）第五次多摩市総合計画 第 3 期基本計画」改定方針について

9 「（仮称）第五次多摩市総合計画 第 3 期基本計画」の進め方等について

10 その他

閉会

会 議 録 (要旨)

【開会】

以降、次第6「諮問」まで事務局により進行。

【1 市長挨拶】

阿部市長より開会の挨拶。

【2 委嘱状の交付】

各委員に配布した委嘱状の確認を行い、内容について了承された。

【3 委員の紹介等】

事務局より資料1に基づき各委員を紹介し、各委員より挨拶。

【4 多摩市総合計画審議会条例について】

事務局より資料2について説明。

【5 会長、副会長の選出】

自薦または他薦がなかったため、事務局より会長については松井委員、副会長については中島委員を提案し、異議無く了承された。

松井会長、中島副会長より就任の挨拶。

【6 諮問】

市長より諮問文書を会長に手渡し。

【7 会議運営に関する事項の確認について】

事務局より資料4について説明。

委員 過去の審議会等と同様、必要に応じて現地視察を行うことも想定しておくべきと考える。

事務局 審議の状況によって随時設定する。

会長 この4年間でワークライフバランスが重視されるようになっており、個人的には平日の夜や土日の審議会開催にこだわるものではないが、委員の皆さんの都合に合わせ、なるべく多くの方の参加ができるように調整いただきたい。

【8 改定方針について】

事務局より資料6について説明。

- 委員 第2期計画の踏襲にこだわらず時代の変化を見極めた上での計画策定という趣旨だと認識しているが、「改定」という言葉を用いた意図を伺いたい。
- 事務局 現基本構想の下に位置付けられる計画であるため、「改定」という言葉を使用している。ゼロベースではないものの、基本的には新たな計画を作っていただく想定である。本審議会では計画名称も含め審議頂きたい。
- 会長 時代の変化に即して考え方や構成等を抜本的に見直す機会と理解して良いと考える。

【9 「(仮称)第五次多摩市総合計画 第3期基本計画」の進め方等について】

事務局より資料7について説明。

- 委員 市民ワークショップへの委員の参加は可能か伺いたい。
- 事務局 委員の皆さんにもご案内する予定であるので、都合が合えば出席することは可能と考える。現在企画を検討中であるが、基本的には無作為抽出により参加者を募集する予定である。
- 委員 かなりタイトな策定スケジュールと考える。密度ある議論が出来れば良い。
- 委員 具体的な「見直しの方向性」を第2、3回で初めて審議することになると思われるが、活発な議論を行うためには資料を受領してから時間が必要と考える。また、審議会において、委員から意見を出す機会は設けられるのか。
- 事務局 タイトな策定スケジュールであることは承知している。また、委員の質問については、ある程度「見直しの方向性」の案を提示しつつ、第2、3回の審議会で意見を頂きながらとりまとめたいと考えている。
- 会長 意見を出す機会についてはどのように考えているか。次回審議会で議論が行えるよう、事前に資料を提示すべきと考える。また、「見直しの方向性」の定義についても認識を統一する必要がある。
- 事務局 資料は事前配布の方向で調整している。資料の内容としては、重点的な取り組みを絞り込むための判断材料となる資料を想定する。
- 会長 事前配布を行った上で、事前の意見集約を行うか否かは事務局と調整する。

【10 その他】

事務局より資料8について説明。

- 会長 「現計画の達成状況」に関しては、政策指標値により状況を把握することが可能である。また、「データから見える現況・課題」は主要な課題が浮かび上がるような具体的データが必要である。
- 委員 各調査項目をもとにして「重要テーマ」が次回審議会で報告されると考えてよいのか。その際に、市長公約についてはどのようなスタンスで議論を行えばよいのか。
- 事務局 「現計画の達成状況」については、現在平成29年度実績を各課照会中のため、

第3回審議会において報告したい。その他の調査項目については次回審議会で報告予定である。その際には各調査項目から「重要テーマ」の要素が浮かび上がる資料を提示することを想定している。重要テーマを事務局から報告するというより、出てきた傾向、トレンドをもとに各委員の知見をもとに何が重要かを議論いただく想定である。それらを議論の上で、第3回審議会には「見直しの方向性」の案を提示したいと考えている。

会長 次回審議会では市の概況が整理されると思われるため、委員の皆様の知見を踏まえ議論を行えば、重要テーマが見えてくると考える。

今後の日程（案）について、事務局より資料9について説明。

会長 欠席者への情報共有や、別途意見を聴取する機会は設けたい。

【閉会】